

件名 防災講演会 10月26日(金) 19:00-20:30 愛宕供用会館

「防災による協働のまちづくり」

－協働のまちづくりの基礎知識や事例を学ぶ－

主催:愛宕地区自主防災組織連合会 (愛宕地区自治会連合会)

共催:いわくに市民活動支援センター

異常気象による自然災害は当愛宕地区においても7月の豪雨で被害が発生しています。このような災害の機会を捉え、このたび「愛宕地区防災まちづくり」が立ち上がり、愛宕地区自主防災組織活動計画が作成され、その事業計画の1つとして防災講話がありました。週末の雨天で足元が悪い中、65名の参加者があり関心の高さが伺われました。

以下その内容について報告します。

防災講演会

タイトル「今こそ災害に強いまちづくりを」

－みんなで考えよう、これからの愛宕－

講師 幸坂 美彦 氏 (一社)いのちを守る防災危機管理協会理事



内容

- ①協働とは市民+行政だけでなく、あらゆる主体が様々な形で同一な目的に向かって協働していく。
- ②国から県に県から市町に委譲、更に各地域に委譲する実態を認識する必要がある。(行政の分権化)
- ③岩国は行政の管理区域がひろがり市などから以前のようなサービスは期待出来ない。
- ④高齢過疎化、人口も減少、地域課題は増大しているだけに各地域ごとに対応が必要。
- ⑤各地域で課題を抽出して自ら考え、知恵を出し合って進めていく必要がある。
- ⑥災害とは一瞬のうちに人の命に危険を及ぼす事件や事象であり、防災はそれを防ぐこと。
- ⑦災害には自然災害、人為的災害、感染症、食中毒などであるが、今回の防災は自然災害を言う。
- ⑧国内の災害の実例として7月西日本豪雨災害、8月酷暑、台風災害、9月北海道胆振東部地震など。
- ⑨岩国、愛宕地区においても水害、高潮、土砂崩れ、台風、地震、津波などが起こり得る。  
具体例:床上浸水(2)床下浸水(25)裏山崩壊(7)道路水路(9)計43ヶ所
- ⑩山口県および周辺地区の主な活断層の中での岩国断層を地図で示す。
- ⑪南海トラフがここ20年以内で80%の確率で発生、その時の津波の予想動画を確認。
- ⑫防災対策は自分の命は自分で守ることが大変重要であり**自助が70%**、地域や組織がそれぞれ守る**共助が20%**、公的機関が行う**公助は10%**ぐらいであるとの認識が必要。
- ⑬防災とは災害の履歴など「知る」地形的な条件などを「見る」危険を知らせる「伝える」が大事。
- ⑭愛宕の活動としては自主防災組織を活性化・拡充・増強を訴えていくことが重要。
- ⑮最後に防災とは人の繋がりが大事で、まずは「あいさつ」から始めよう。

今回の内容をベースに具体的な防災行動が愛宕地区、各家庭で実行されることを願っています。

